

暖かい日が続いてはいますが、季節の遅れはまだ回復していません。都心の公園ではジャコウアゲハは全盛期を過ぎましたが、アカボシゴマダラはやっと発生が始まったばかりです。昨年の5月連休は、都心の公園は真っ白な大きな蝶に占領されていたのとは大違いです。昨年は蝶の発生数も極めて少なかったですが、今年はどうなるでしょうか？今後の推移を見守りたいですね。  
(総務幹事：田中和夫)

### 【5月例会】

日時：平成29年5月16日（火）（第3火曜日） 午後6：30～8：30

場所：吉祥寺、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室

講演：宮内 隆夫氏「杉並区の昆虫相」

北川 朝生氏「東北地方のベニヒカゲ行を振り返る」

当初5月は多々良明夫氏による「ラオスの蝶」の予定でしたが、ご都合で6月に順延となりました。

### 【今後の例会予定】 午後6：30～8：30、

6月13日（火）（第2火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

講演：森 紘一氏「農業の話 ～ネオニコチノイド～」

多々良明夫氏「ラオスの蝶」

7月11日（火）（第2火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

8月 6日（日）（第1日曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

9月26日（火）（第4火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室）

### 合宿ほか

5月23日（火）～25日（木） 裏磐梯昆虫調査会（1）

7月22日（土）～23日（日） 夏合宿 立川市八ヶ岳山荘

### 【連絡事項】

#### 1. 『2017年度の会費』

グループ多摩虫の会費納入期限は2月28日となっておりますが、まだ納入が確認できていない方がおられます。入金がない場合、会員資格を停止させていただきます。（会計幹事：藤塚弘）

#### 2. 『会員専用ホームページ』

4月1日から会員専用ホームページのID/PWが変更されました。新規ID/PWは、新年度会費を納入された方のみにお送りしています。会費を納入しているのに新規ID/PWが届いていない方がいましたら、連絡ください。（IT幹事：中村清）

#### 3. 『裏磐梯採集会開催の件』

この度、グループ多摩虫では、社会貢献活動の一環として、裏磐梯ビジターセンターにおける昆虫標本リニューアル計画に協力することとなり、第1回の採集・観察会を開催いたします。

開催日程 5月23日（火）～25日（木）2泊3日

（事務局：鈴木陽花）

#### 4. 『ご逝去の連絡』

大島良美（オオシマ ヨシミ）：4月16日、享年84歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 5. 『新着交換会誌、その他』

下記の寄贈図書・交換会誌が送られてきています。5月例会で回覧します。

尚、本図書も貸し出し対象と致しますので、貸し出し希望の方はお申し出ください。

1. 埼玉昆虫談話会 寄せ蛾記 164号
2. ホシザキグリーン財団 研究報告 第20号
3. 同上 研究報告特別号 第18号
4. 同上 研究報告特別号 第19号
5. 同上 環境修復PJ報告書
6. 同上 グリーンパークでバードウォッチング20年の記録
7. 同上 HOWP 42~45

### 【4月例会 概要】

4月18日(火)武蔵野公会堂で4月例会が開かれました。出席者は45名でした。

例会冒頭、大島良美さんご逝去に伴い、1分間の黙祷をいたしました。

今月は講演2題で、九州大学三枝豊平教授に続くミノガの権威、新津修平氏によって、「日本産ミノガ類研究における最新の知見と今後の展望」の講演がありました。

オオミノガの解説、中部山岳地帯から発見された新種、進化としての翅退縮の3部構成で、45歳の脂の乗った気鋭学者の口角泡を飛ばしてのお話は惹き込まれるものがあり、50分間はあっという間に過ぎました。ある程度人の手が入った方がオオミノガは発生しやすいこと、奥様に献名した新種 *Narycia emikoae* は道路拡幅工事により既に絶滅危惧種であること、♀の翅退化については氏のキーワード「退化は進化と同義」で詳述されました。

高校時代まで陸上競技(400m)に没頭した履歴が新津氏の今を造る一つの大きな要素のようです。

引き続き、富樫敦氏による「蝶の植樹、食草と食餌」の講演がありました。

食草(食樹)販売の世界も日本経済とオーバーラップしており、現在は最盛期の3分の1の売り上げ、販売対象は関東より関西に多いそうです。20鉢以上の実物を持参され、結構珍しいもの、紛らわしいものなどが披露されました。ゲットウに酷似した2種の植物もあり、これらは栽培だからこそ判定できるとのことでした。

また飼育中の幼虫や羽化のシーンの動画が映され、幼虫が蟻の幼虫を食べても蟻は無頓着だったり、キマルリが蛹化する際皮がなかなか脱げずに奮闘する姿など、興味深い生態を観ることができました。

その後、お2人とも二次会に参加され、楽しみました。

(企画幹事：北川朝生)

### 『第20回 高尾山：蕎麦と昆虫観察を楽しむ会』実施報告

大型連休前の5月1日の夜、第20回高尾の会を実施致しました。参加者は竹中一夫氏と企画者の中村・斎藤の3名でした。JR高尾駅南口から徒歩2~3分のコンビニに7時45分に集合し、初沢山の中腹に徒歩で登ってライトトラップと糖蜜トラップをセットし、8時~9時45分の間、観察・採集を行いました。

ライトトラップには大型種は飛来しませんでした、シャクガやメイガなどが飛来しました。

竹中一夫氏がセットした糖蜜には、大型種としては、フクラスズメの他シロスジトモエが1頭来しました。

斎藤の採集・目撃種は以下の通りです。

シャクガ科

シロスジヒメエダシャク	マエキトビエダシャク
ナカキエダシャク	ウラベニエダシャク
アシプトチズモンアオシャク	ヒメウスアオシャク (?)
セスジナミシャク	ホソスジナミシャク
フタクロテンナミシャク	オオハガタナミシャク
セキナミシャク (?)	
エゾチビナミシャク (?)	(ナカアオナミシャク?)

カギバガ科

ヒメウスベニトガリバ	ウスギヌカギバ
------------	---------

ヤガ科

ソトウスベニアツバ	ナカジロアツバ (?)
オオマダラウワバ (?)	(ウスグロマダラウワバ?)
クロスジキリガ	

シャチホコガ科

ハイイロシャチホコ

メイガ科

マエベニノメイガ	ホシオビホソノメイガ
スカシノメイガ	

中村採集の蛾

シャクガ科

ナシモンエダシャク	ヒメマダラエダシャク
キマダラツバメエダシャク	

シャチホコガ科

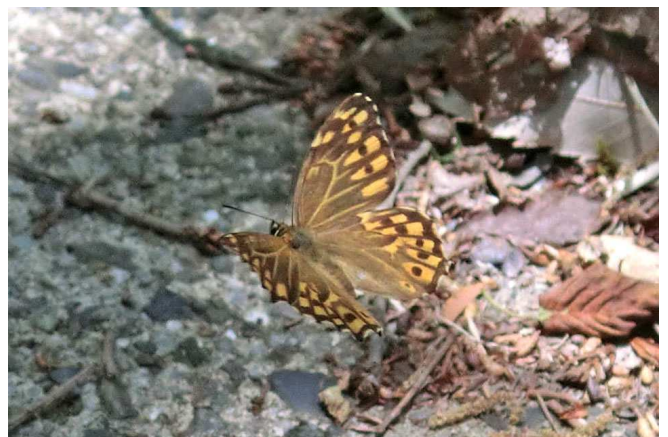
シロシャチホコ? (ハイバラシロシャチホコ?) 他。

なお、中村は4月30日に初沢山に下見に行き、エゾヨツメ1♂(大破)を目撃しています。  
(担当: 斎藤秀昭、中村清)

【5月の蝶】

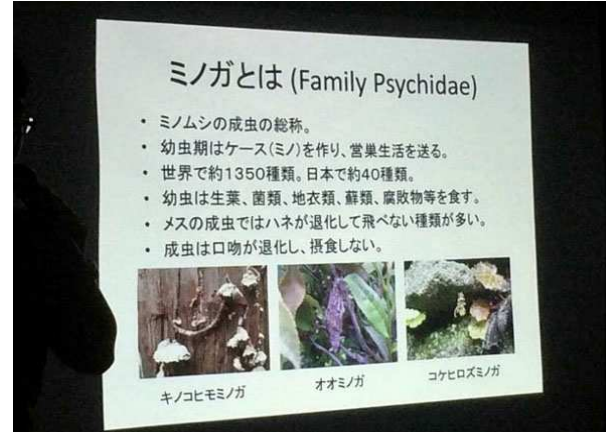


イチモンジチョウ 5月11日 川崎市生田緑地

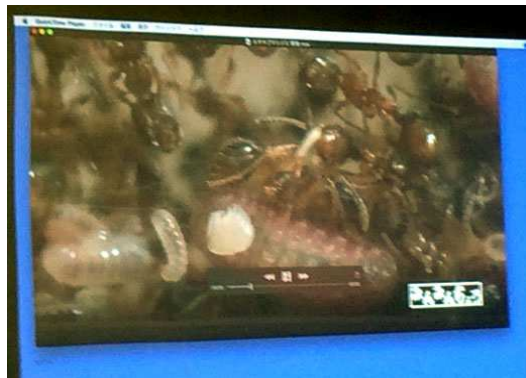


ヤマキマダラヒカゲ 5月8日 千葉県市原市

## 新津 修平氏「日本産ミノガ類研究における最新の知見と今後の展望」



## 富樫 敦氏「蝶の食樹、食草と食餌」





## 二次会の風景

